

平成28年度 今治育成園施設指定管理者モニタリング結果

施設名	今治育成園
所在地	今治市町谷甲746番地
指定管理者	<p>名 称 社会福祉法人 今治福祉施設協会</p> <p>代表者 理事長 鳥生 裕臣</p> <p>住 所 今治市南宝来町一丁目9番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>T E L : 0898-36-1527</p> <p>E-mail : syougai Fukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	知的障害者福祉法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、今治市条例等の法令・規則を遵守し指定管理業務を遂行しております。	A	施設の設置目的や管理運営方針等を理解して運営しています。
利用状況	A	入所者は定員50名に満たされており。短期入所・レスパイトにつきましては、平常時の定員3名、特殊な事情のある場合の緊急時の定員4名とし、当施設が行事等の止むを得ない事情のため受入れが困難な場合を除き、可能な限り受入れに努めました。	A	入所者は定員50名で満たされており前年度と利用者には変わりはありませんが、一時帰宅の日数減少が延べ利用人数の増加となっております。待機者は100名を超えている状態です。短期入所・レスパイトは、一時的に施設利用が必要になった人のための取り扱いであり、前年度に比べ利用は少ない状況です。今後の施設利用も恒常的に定員が満たされる見込みです。
事業収支	A	社会福祉法人 今治福祉施設協会 経理規程等に基づき適正な経理業務を実施しております。	B	人員増による人件費増と、入所者の利用増による給食費増以外目立った支出増はありません。引き続き経費節減に努め、健全な経営をお願いします。
管理運営体制	A	組織体制・職員研修等に適正な運営が遂行されるよう努めました。また、引き続き障がい者雇用も行っております。	B	組織内研修、派遣研修を行い、利用者の障がいに関する知識を学習しています。出張後の周知もシフトにより全員が一度に集まらないことを考慮し、文書配布と2回の会議で連絡できるようにしています。障がい者雇用も行っており、働く場の提供もできています。前年度に比べ人員も増えておりますので職員の負担は軽減されています。夜勤があるため体調管理が大変ですので、職員の健康管理にも注意をお願いします。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営業務	A	今治市との協議・連携により、仕様書等で定められた管理業務を今治育成園職員自らが実施し、職員が直接関与することが困難な業務につきましては、適正に業者選定、業務の委託を行い、適切な管理に努めました。	A	仕様書で定められた業務基準量を実施しています。さらに、食品を取り扱うため厨房・食品庫の衛生管理を毎月行っています。防犯訓練も近隣の療護園と一緒にいき、高い防犯意識を持っています。植栽管理や近隣水路の清掃も職員が行い、環境美化に取り組んでいます。
利用業務	A	利用指導資料作成、利用料減免、利用促進業務、誘致活動業務につきましては、当施設にとって馴染まないものとして自己評価の対象外とさせていただきます。利用者並びに当施設に関与される方々に、職員が親切丁寧な対応を行うよう努めました。施設・イベントのPR・情報提供のために、パンフレット・イベント情報・広報誌を作成配布しました。	B	年3回の広報誌の発行により、利用者家族への情報提供及び現況報告が行われています。イベント開催案内のチラシ作成などにより、地域への情報提供も積極的に取り組んでいます。地域へのPRによる施設の理解、認知はされていますが、広域的な情報発信、広報啓発の取り組みを検討してください。
その他業務	A	事故及び災害発生時の対応について、リスクマネジメント委員会を月1回実施し、職員協議の上で十分な対応を行うよう努めました。 省エネルギー対策につきましては、日頃の活動、地域交流行事等におきましてごみの分別や資源のリサイクルに積極的に取り組みました。喫煙対策では指定喫煙場所を当施設の建物外に設置し、分煙化を図りました。 個人情報保護に関しましては、社会福祉法人今治福祉施設協会によります個人情報取り扱いに関する研修や職員より個別に誓約書を徴集し、適正な個人情報管理を徹底しております。 利用時間等につきましては、利用者ニーズに配慮し、柔軟に対応できるよう努めました。	A	事故・災害等緊急時対応マニュアルは、法人で統一したマニュアルが整備されており、避難訓練は2か月に1回実施、災害発生時に備え食料を1週間分備蓄しています。イベント時には近隣の交通安全協会の人にも協力してもらい、駐車場の誘導を行うことで安全を確保しています。喫煙対策として建物外で喫煙するよう指導するとともに、火災の原因となるライターを入所者へ持たせないようにしています。引き続き、利用者の安全確保に注意し、対応をお願いします。
修繕業務	B	修繕業務に関しては、可能な限りすみやかな対応が出来るように努めました。	B	施設の老朽化による施設設備の修繕が増加していますが、利用者が安全に使えるよう修繕業務について迅速に対応しています。
備品管理業務	B	備品管理業務については、適切に実施されるように努めました。	B	利用者の安全と快適な生活をするのに必要な備品の購入がなされています。
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	利用者の利便性向上のため、飲料水の自動販売機を設置し、市場価格と同額で販売しました。収入については、施設の管理運営費に充当しました。	B	利用者の利便性に寄与するため、飲料用の自動販売機設置がなされており、目的外使用許可申請の手続きも適切に行われています。
自主事業	A	自主事業につきましては、地域に根ざし、利用者並びに家族、地域住民、関連団体各位、職員が連携して創意工夫のもとで実施されています。当施設の諸活動によりまして、広く地域・一般の方々への普及啓蒙を行い、障がい者福祉の向上に寄与すべく努めました。	A	地域と連携し、また複数の団体の協力を得ながら、2つの恒例のイベントを継続実施しています。以前は、地域住民も参加していた運動会や、施設利用者だけのミニ・レクリエーションを行っていましたが、参加者の高齢化もあり今年度は中止となっています。利用者の状況を見ながら、体調に無理のないゲームなどのイベントの実施も検討し、また地域を巻き込み拡大できるように期待します。
地域団体との連携	A	富田地区コミュニティ推進会をはじめとして、富田福里会、草の根ふれあい会等の関係諸団体と密接に連携し、地域交流行事などを通じて、住民の皆様と共に、ふれあいのまちづくり事業推進、障がい者への理解を深めるなど地域に根ざし、地域に開かれ、地域と共に歩む活動を通じ、地域に愛される施設づくりに邁進して参りました。	A	地域の自治会をはじめとする各種団体との連携によるイベントの共同実施、また療護園とのイベントの共同実施など開設当初より交流・連携が密に取られています。地域に根差した取り組みを今後も継続し、より一層の連携・交流が図られることを期待します。
利用者アンケート	A	アンケートの実施にあたっては今治市と協議し、結果・分析等は適正に処理しております。	B	アンケートの実施方法、分析について適切に行われています。多くの利用者、家族からの要望、意見を把握するためにも、回収率を向上させる方法の検討、及び実施回数の増加を検討してください。
事故・苦情	A	当施設利用者の事故や苦情に対し、意見が述べやすい環境整備に努め、適切な対応や記録・分析を行い、有効な対策が講じられるような組織づくりに努めました。	B	事故発生時における対応、状況報告などについては事故報告書として記録され、看護師により経過報告が施設職員全員に共有されています。職員の対応も適切であり、家族とのトラブルもなく苦情実績もありません。入所者の高齢化により、転倒による骨折が増加しています。防止策の検討をお願いします。

課題	指定管理者自己評価	市による評価
指定管理者の経営状態		賃貸借表、正味財産増減計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。

総合コメント（市）
<p>今治育成園では、施設入所、短期入所、日中一時支援の3つの事業を展開しており、それぞれ順調に運営されています。特に入所者においては、長期に渡り常時定員を満たしており、待機者も100名を超える状況です。地域との連携が強く、また地域の理解も深く、イベント時には大勢の地域住民が訪れます。特に地域福祉祭り、観月会の2つの大きなイベントについては共催という形で実施されており、毎年恒例行事となっています。今後も、地域とのつながりを大切にし、地域と共に育んでいく施設となるよう期待します。</p>

指定管理者選定審議会による総合評価	
評価点	選定審議会による評価